

さらなる国内・団体の機能強化を年内に ～オールマイティーなシステムへの進化を図る～



小山文宏社長

エヌオーイー(NOE)グループのシステム会社、トラベル・エボリューションは、旅行業基幹システム「TRAVEL EVOLUTION(通称:TRAVO)」のさらなる機能開発を進め、国内出張や国内団体旅行への対応を強化する。

より広範な機能の装備へ

トラベル・エボリューションは、業務渡航大手のNOEがノウハウを結集して独自開発した基幹システムをベースに「トラボ」を開発し、業務渡航系の旅行会社を中心に20社以上のユーザーにシステム提供している。



業務渡航の取り扱いに関しては長年の実績と規模を誇るNOEが鍛え上げてきたシステムのノウハウや、実務の中で磨かれてきた機能性といった特徴を取り込みつつ開発された基幹システムだけに、「トラボ」は旅行業務で培った旅行会社目線のサービス開発が強みの一つとなっている。ITを専門とするシステム・ベンダーが開発した旅行業システムと大きく異なるのがこの点だ。

こうしたシステム上の特徴から、「トラボ」は業務渡航系の旅行会社からは高い評価を受けている。しかしトラベル・エボリューションは、さらなる機能開発に取り組み、ユーザー対象を拡大していく方針だ。

具体的には国内出張系の機能と国内団体旅行系の機能を強化していく計画で、「これまで、どちらかと言えば海外業務渡航系のシステムとして、いわば“専門店”的な評価を高めてきたが、今後はさらに幅広い業務範囲への対応を強化する。今後は“百貨店”的な意味でも評価を高め、オールマイティーなシステムとして期待に応えられるようにしていきたい」(小山文宏社長)としている。

国内系の機能開発に照準

「トラボ」は、業務渡航系旅行会社の要望に応じて、国内出張に対応する機能をカスタマイズする用意はあるが、国内出張に関連する機能を含めたパッケージとしての提供はしていない。このため「海外業務渡航に関する主要な機能と国内出張系の機能を組み合わせ、パッケージ化して提供できるようにしていくことを考えている」(ソリューション事業部・田島武俊課長)。

また「トラボ」の既存の団体旅行機能は、海外団体旅行を想定しており、国内団体旅行向けにはできていない。このため国内団体旅行に対応する機能の開発も進める方針で、「できるだけ早く国内関連の機能を整え、『トラボ』に装備できるようにならう」とのこと、年内の装備を目指し開発作業に取り掛かっている。

業務渡航系の旅行会社にとって、国内出張関連業務は収益性が低いうえに手間がかかり、業務の効率化が大きな課題となっている分野だ。それだけに国内関連の機能の拡充により、一定の自動化や効率化を実現できれば、「トラボ」の導入企業の拡大の大きな推進力になるとを考えられる。

トラベル・エボリューションは今期も業績が順調で3期連続の黒字化を達成。経営の安定化により開発原資の手当てにも目途が立ち、システム開発会社である

アジェンダとの協力関係も緊密化。「トラボ」のASP版に位置付けられる「トラベル・マイスター(Travel Meister)」の共同開発等を通じてアジェンダとは良好な関係を維持している。こうしたタイミングも、新たな機能強化の追い風となっている。



GDS新機能にも対応

国内関連の新機能開発と並行して、「トラボ」の機能性の向上に関し不断の取り組みを続けている。特に注力しているのがGDS新プロダクトへの対応だ。GDS各社は運賃検索や発券関連(再発券等を含む)の便利ツールの開発にしのぎを削っており、新プロダクトも相次いでいる。しかし基幹システムとの連携が図れなければせっかくの便利ツールも効果は半減

する。こうした場合、基本的にはGDSの新機能を連携させるために基幹システムをカスタマイズする必要がある。

GDS都合で生じた変更に合わせて「トラボ」の調整、改修を行うには相当の手間とコストがかかるため、カスタマイズ費用の形でコスト負担をユーザーに求める方法もある。しかし「トラボ」では、ユーザーの利便性を考慮して、GDSとスムーズな連携状態を維持できるように努力。GDSの便利ツールや新機能に対応するため可能な範囲で「トラボ」の改修を行い、ユーザー負担を極力軽減している。

GDSの変更は予告なく行われることが多いため、「トラボ」の機能性や操作性に問題が生じることもあるが、トラベル・エボリューションでは「状況は常にチェックしている。事前に情報があれば遅滞なく対応し、問題が生じた場合には迅速に適切な対応を取りユーザーの期待に応えていきたい」(田島課長)としている。

グループ内で機能性を常に検証

こうした対応が可能な理由の一つがNOEグループの一員というトラベル・エボリューションの立ち位置だ。NOEは膨大なボリュームの業務渡航を取り扱っており、日々の業務の中で、不具合や問題が発生すれば、すぐにトラベル・エボリューションにも情報が伝わる仕組みがある。

つまり「トラボ」をモニターしてくれるヘビーウェーブー・ユーザーが常に身近にいるのと同じ状況で、情報を把握から対応まで迅速に動ける強みがある。発生した問題や不具合の重要度や緊急性を、旅行会社目線で把握できるのも強みだという。

国内出張系の機能と国内団体旅行系の機能の強化により、「トラボ」は“次世代トラボ”的実現に一歩近づくことになる。



未来のために機能は進化する

「TRAVEL EVOLUTION」(通称:TRAVO)は

業務渡航をはじめとする個人旅行のエキスパート

株式会社エヌオーイーの業務ノウハウを集積した

旅行者への快適なサービスを効果的に提供できるシステムです。

個人旅行特有の複雑な業務フローをカバーします。



株式会社 ト ラ ベ ル ・ エ ボ リ ュ ー シ ョ ン (英文名称 Travel Evolution Inc.)

〒101-0041 東京都千代田区神田須田町1-23-1 住友不動産神田ビル2号館15階(株式会社エヌオーイー内)

□電話:(03)3254-7800 □E-mail : travo@noe-j.co.jp